

常設展示リニューアルの方針と今年度目標

1. 基本的な考え方

基本目標・取組・施策を実現するための常設展示（総合展示室・主題展示室）リニューアルとする。

2. 現状分析の方法と課題点の抽出

- (1) 当館の現況およびリニューアルにかかる市民アンケート調査の実施
- (2) 専門家によるレビューの実施



現状分析と課題の整理

3. 各展示ゾーンの見直しと改修案の作成

- (1) 各時代（ゾーン）担当学芸員による新たな「展示のねらい」の作成・提示
 - 現状把握を行うとともに、「展示のねらい」の再確認と再検討を実施する。
 - 問題点・課題点を抽出し、解説・演出方法等、改善すべき点を考える。
 - これまでの企画展等展覧会、報告書、紀要、松戸市史で公表した成果を反映させる。



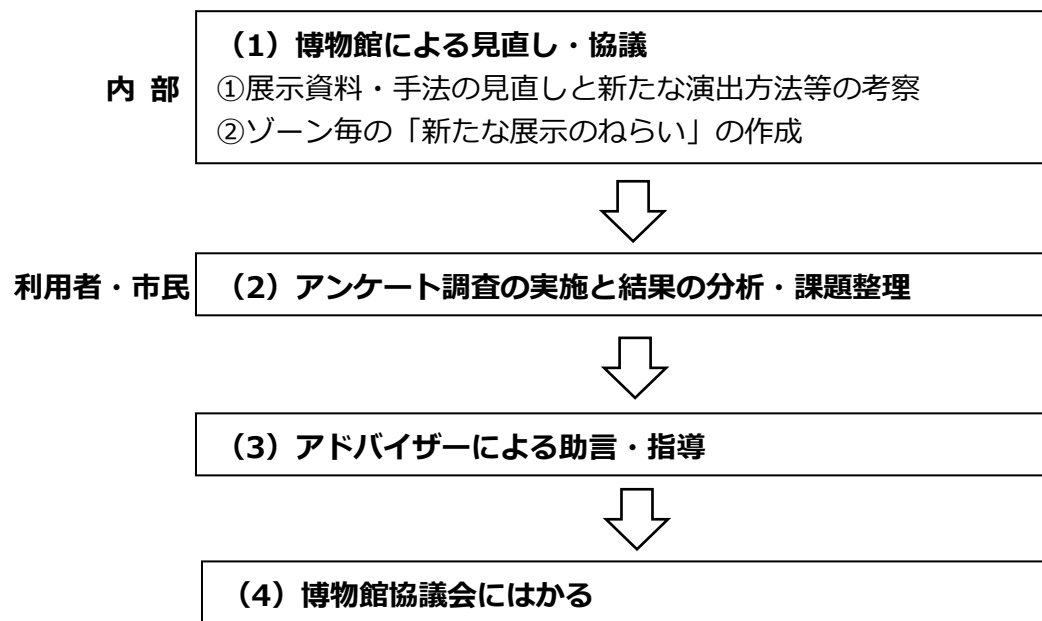
「新たな展示のねらい」を提示（※それに伴う改修案を計画）

- (2) 主題展示室における展示改修（撤去・転用・編入案）
 - こども歴史体験ゾーン**を1階（現在の実習室・プレイルーム他：エントランス）に設置する計画を受け、2階主題展示室の展示を解体・改修する。
 - 現在の主題展示室は、「講座室」および「**可変性のある展示室**」として改修し、利用する計画。
※可変性のある展示室とは、新収蔵資料やコレクション資料のお披露目、企画展開催前のプレ展示、旧主題展示室資料の展示などを実施。常設展示の最後に位置させ、つねに変化する展示を提供。
- (3) 展示手法の見直し
 - 新たな展示方法による展示や活用の方法等を検討する。

4. 展示室全体に関する見直しと改修案

- 展示室の全体的な照明計画（吊り天井の改修、照明を変更・LED化）を立てる。
- 照明の変更に伴い、各種パネルの仕様・演出方法を変更する。

5. 常設展示リニューアル（骨子）作成の手順（令和 2 年 10 月～令和 3 年 3 月）



※(1)～(3)は上記期限後も継続し、令和 3 年 12 月の計画最終案へ反映させる。